

医薬品タイムリー情報

酸化マグネシウム製剤 適正使用に関するお願い ～高マグネシウム血症～

酸化マグネシウム製剤の「高マグネシウム血症」については、2015年に各メーカーより「適正使用のお願い」が出されましたが、その後も「高マグネシウム血症」を発症し重篤な転帰をたどる症例(死亡または死亡のおそれ)が報告されています。

今回、「高マグネシウム血症」の発症・重篤化防止並びに早期発見のため、下記の事項について、十分に留意してください。

留意事項

●高マグネシウム血症が発症しやすい方

- ◎酸化マグネシウム製剤を長期間服用している患者さん
- ◎腎障害を有する患者さん
- ◎高齢の患者さん
- ◎便秘症の患者さん

●高マグネシウム血症の発症・重篤化防止並びに早期発見のために注意すること

- ◎上記の患者さんには定期的に血清マグネシウム値を測定するなど特に注意してください
- ◎漫然とした処方を受け、必要最小限にとどめてください
- ◎高マグネシウム血症の症状があらわれた場合には、服用を中止してください

●血清マグネシウム濃度と症状

- ◎血清マグネシウム濃度ごとの臨床症状を下表に示します
- ◎酸化マグネシウム製剤を服用中の患者さんに以下のような症状が現れた場合には、高マグネシウム血症の可能性を考慮し、適切な処置を行ってください

高マグネシウム血症時の症状

血中Mg濃度	症状
4.9mg/dL～	悪心・嘔吐、起立性低血圧、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠、全身倦怠感、無気力、腱反射の減弱など
6.1～12.2mg/dL	ECG異常（PR、QT延長）など
9.7mg/dL～	腱反射消失、随意筋麻痺、嚥下障害、房室ブロック、低血圧など
18.2mg/dL～	昏睡、呼吸筋麻痺、血圧低下、心停止など

酸化マグネシウム製剤 適正使用に関するお願い -高マグネシウム血症- より引用

●当院採用マグネシウム製剤の院内使用量(2020年8月分)

マグミット錠250mg	395錠 (7名)	マグミット錠330mg	2,665錠 (45名)
マグミット錠500mg	926錠 (19名)	酸化マグネシウム原末	173g (5名)